

No.	箇所	意見・質問等	事務局回答	素案への反映
1	P 2 7	(2) 情報発信手法の検討 (3) 情報発信内容の検討が挙げられているが、同じ内容の記述が多く、具体的な内容や展開を感じられないところがあるので、例えば施策の体系の「伝える」の中に川口文化のブランド力を上げるような内容（ブランディング）等の言葉を使用するのはいかがなものかと考えます。	基本計画各論の中で対応したいと考えております。	P35「活かす」②「川口らしさ」の発信 ＜取組内容＞2行目 「ブランディング」を追加
2	P 1 7	リアに関して記載されている声は既にあがっていたことと思われます。「課題」「検討」というより、実現に近い具体的内容を掲げていただきたい。	アンケート結果の分析を行っているのみなので、実現に近い具体的内容をあげることは難しい。	—
3	その他	なかなか予約の取れないほど人気のあるリアを、改修工事のため2年間もの間休館するのであれば、川口駅付近に、仮のホールなどを先に用意しておくべきではなかったのでしょうか。	駅前に仮のホールを用意するのは財政的な負担からも困難であったと思います。	—
4	資料1 3-1-①	「三味線、俳句、アート感想文など」の三味線（邦楽）の後に洋楽のピアノも入れた方がいい。	追加いたします。	修正済
5	P 5-3 (2)	世代間交流。異学年クラス（5年～中2）（1年～4年）を取り入れている学校もある。異学年で学ぶことで子供達が成長することがある。異世代、異学年で行う文化体験には多くの可能性があると思う。是非、多くの事例を見ながら取り組んでいただきたい。	意見として参考にさせていただく。	—
6	P 3 1-3 (1)	現在、不登校の人数がととも増えています。フリースクール等、病気・障害ではないけれど、今後について多く悩むような人にも、きちんと関りをもつ機会をつくれると良いと思う。（不登校は現在30万人いると言われています）	意見として参考にさせていただく。	P35「活かす」①まちづくりや地域課題解決への文化芸術の活用 ＜取組内容＞  「不登校」という文言は用いていませんが、「例えばコミュニケーション力向上に資する演劇ワークショップ、音楽療法、ホスピタルアート等の福祉や教育分野での文化芸術の活用、」の部分で、少し広い観点から位置づけています。
7	資料1 3-3	以前されていたアトリア通信のようなものが、より広い視野で展開されると良いと思いました。地域交流に関しては、アーティストだけでなく、地域のアートスペースとも交流出来ると良いと思う。	意見として参考にさせていただく。	—
8	P 3 2	文化芸術基本計画（第2期）について全体を通じて、玉虫色に言葉だけが整えられているという印象。4施策の体系「楽しむ」にすべての市民が文化芸術の活動、鑑賞、創作、体験するための環境整備とあるが、（第1期）の取り組み状況と評価（表）からみても、とともすべての市民への環境整備ができていないという状況を、どのような施策をもって解決しようとしているのか。「育つ」についても同様。	意見として参考にさせていただく。	「基本計画」として具体的な施策イメージを追加したので、ご検討いただきたい。
9	P 2 0-2 1	(2) 障害者、子ども、高齢者、外国人等への対応のところで、小学校では朝日東小や鳩ヶ谷小のように文化庁事業に応募して実施している小学校もあるがそういったところにはヒアリングをしたのか。見沼福祉会の工房集では障害のある方が、作品づくりをし展示会を実施している。おやこ劇場でも毎年鑑賞事業等の文化活動を地域に広げて実施している。調査不足ではないか。 (4) の意見は計画にどのように反映されているのかが見えない。 第1期の評価がコロナ禍でくくられていることにも、長く続いたコロナ禍への無策が見える。	意見として参考にさせていただく。	—

No.	箇所	意見・質問等	事務局回答	素案への反映
10	その他	美術館について会議の中でも様々な意見が出されたが、設計段階から専門家がかかわれる仕組みがあればと思う。ジャンルを超えた施設とするのなら、多目的ホールを入れていただきたい。	設計段階から学芸員からの意見は聴取している。多目的な利用はアトリウム等で実施予定。	—
11	P 3 2-3 3	P33の表の「伝える」に情報の伝達と文化資産の伝承が混じっているので情報の伝達については、情報や文化芸術に「接する」に、文化資産の伝承については、「残す/遺す/護る/守る」にしてはどうか。	体系については再考し、文化芸術基本計画に合わせます。	「つなぐ」として、文化遺産の伝承だけで1項目とした。
12	P 3 2-3 3	P33の表について、第2期基本計画案や「教育振興基本計画」にも、外国人・障がい者・世代間など多様な人たちとの交流について書かれているので、文化芸術を通じて多様な人や世代が「交わる」を入れたらどうか。	体系については再考し、文化芸術基本計画に合わせます。	文化芸術施設の充実に関する項目を「創る」としているが、「交わる」とする方向性もありうると考える。本市の文化芸術施設の今後の方向性をどちらとしていくかにも関わるので、委員の先生方にご議論いただきたい。
13	P 3 2-3 3	P33の表の主語についても、「市民」と「文化芸術」で確認のため市民が、「楽しむ」、「育つ」、「活かす」・・・文化芸術を、「楽しむ」、「育つ」、「活かす」・・・と表に追記してはどうか。	体系については再考し、文化芸術基本計画に合わせます。	基本的に「施策の体系」の主語は「市民」と想定。 市民が「楽しむ」「活かす」「支える」・・・
14	P 2 2	「取 り組みます」 → 1文字空いている		修正済
15	P 3 2	「いかす」「活かす」の表記の不一致		「活かす」に統一